

令和7年度 文京区立昭和小学校 授業改善推進プラン

第4学年

教科	指導上の課題の分析⇒	指導の在り方⇒	授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の学習では、単語を覚えることはできるが、日常的に文章の中に取り入れることが難しい。 ○説明文において、文章から答えを記述することに対して苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科で繰り返し文章に取り入れて使うよう声をかける。 ○叙述を基にして、根拠を示しながら、考えを説明する力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字ノートを活用し、繰り返し練習できるようにする。 ○教科書の読み取り方の工夫をしたり、考えを児童同士で共有することで、考えを取り入れたり深めたりできるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に課題解決に取り組むが、わかったことを基に自分の考えを表現することが難しい。 ○資料を活かして自分の考えを表現したり、比較して考えたりすることが不十分な児童が一定数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを表出する選択肢を増やす。 ○資料から読み取れることを児童同士で確認させたり、思考ツールを使って考えさせたりして考えを深められるようにする。また、比較する際のポイントを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章で整理できないときには思考ツールで表したり、箇条書きで表したりして考えを書かせる。 ○思考ツールを使うことで考えがより整理しやすくなり、意見交流でも友達の意見を取り入れたり、深めたりできるように少しずつなってきた。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○答えを求めることはできるが、道筋を立てて説明することが苦手な児童が多い。 ○分度器やコンパスの使い方が難しい児童がいる。 ○途中式や筆算の0の処理を行わないために計算ミスする児童が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童同士で考えを交流したりする時間を十分にとる。 ○作図の動画を見ることで、手順の理解を深める。 ○速さも大切であるが、数字の処理は丁寧に行うことを意識できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○習熟度別で授業を行うことで、それぞれのクラスで考えを交流する時間を意識できるようになってきた。単元を通して交流の時間を確保できるように授業を組み立てる。 ○手順の理解を図ることで、正確に作図できるようにし、図形に親しむことができるようにした。 ○0の処理の必要性などを考えさせることで、数の理解を深められるようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○実験や観察には意欲的だが、思考を深めることには課題がある。 ○導入において現象を見ただけで終わってしまい、問題を見いだせない児童が一定数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の流れを明確にし、科学的に問題を解決できるようにする。 ○疑問をもたせる導入の工夫し、課題解決するための実験観察をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実験後に「結果からいえること」「分かったこと」を文章や図で表現する活動を入れる。また、ペアやグループで、自分の考えと他者の考えを比較する場面を設定する。 ○ICTや動画を活用し、視覚的、体験的に理解を深める工夫をする。

<p>体 育</p>	<p>○課題を見付けることや、多様な解決方法を考えることが難しい。</p> <p>○苦手な学習に対して主体的に取り組まない児童がいる。</p>	<p>○単元計画や時数を伝え、見直しをもって学習ができるようにする。また、児童の実態に合わせた場を設定する。</p> <p>○安心して学習に取り組めるように声をかける。</p>	<p>○練習をするだけが課題解決する方法でないことを実感できるように声かけをする。限られた時間内で目指す自分の姿をイメージさせ取り組ませる。</p> <p>○運動には、多様な関わり方があることを伝えたり、多様な関わり方をしている児童を、授業の最後に価値付けたりすることで体育の学習の仕方を理解させていく。</p>
<p>音 楽</p>	<p>○授業の内容に取り組む姿勢が意欲的である児童が多いが、次の内容に移る際の準備や行動が遅れる児童がいる。</p> <p>○みんなで一緒に演奏することや、アンサンブルを作る意識が不十分な児童が多い。</p>	<p>○授業の流れを明確にする。</p> <p>○お互いに向き合って演奏してみるなど息を合わせて取り組める環境を整える。</p>	<p>○やることが一目でわかりやすい環境をつくる。板書や電子黒板を効果的に使用する。</p> <p>○児童の実態を踏まえ、みんなでつくるという意識を持てるように声かけをする。</p>
<p>図 工</p>	<p>○意欲的に取り組んでいる児童が多いが、細部まで丁寧に時間をかけて取り組むのが苦手な児童もいる。</p> <p>○きまりを守って学習に取り組むことができる児童が多いが、時間通りに片付けることが苦手な児童がいる。</p>	<p>○細部まで丁寧に取り組んでいる児童の作品を見合う時間を設ける。</p> <p>○片付けの時間を十分に確保しつつ、時間内に片付けが終わるよう、児童に合わせて具体的な助言を行う。</p>	<p>○授業の導入、途中、振り返りの時間で、丁寧に取り組む大切さを強調して指導する。</p> <p>○一人で作品作りをしているわけではないという点や、次に使う人に対する思いやりについて指導し、意識をもたせる。片付け方が分かるよう、説明や板書を明確にする。</p>